



News letter

No. 83
January 2020

発行
国際公共経済学会事務局

〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3-138 大阪市立大学経済学研究科金子勝規研究室内
E-mail:japan@ciriec.com http://ciriec.com

今号の目次

1. 新会長挨拶
2. 第8回春季大会のお知らせ
3. 「国際公共経済研究」第31号論文募集
4. 第34回研究大会、学会4賞報告
5. 事務局より

1. 新会長挨拶

国際公共経済学会は欧州に本部を置く CIRIEC（公共・協同経済研究情報国際センター）の日本支部として、1985年に設立されました。最初の研究大会は1986年12月に東洋大学で開かれ、2020年12月の大会で35周年を迎えることとなります。学会運営にご尽力いただいております先生方や研究大会の開催にご協力いただきました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。デジタル化やシェアリングビジネスによって世界の経済と社会が変革を迫られ、EUでは英国が離脱を決定するなど大きく揺れているこの時期に、会長を継続することになり複雑な思いもしています。

研究大会は毎年、冬季に開催してきました。現実における経済動向や社会問題の重要な論点からテーマを選び、専門家を招いたシンポジウムにより議論を深めています。これまでに民営化やグローバル化、環境、震災復興、地域再生などのトピックスに関する具体的な課題を掘り下げ、将来の政策形成につながるような研究活動を続けてきました。近年は春季大会も開かれるようになり、研究成果の報告と会員間の意見交換が一層、活発に行われています。更に、次世代研究会を設けて若手研究者を中心とする合宿を行うなど、公共政策や市場システムについての研究の継続性を意識した活動も展開しています。

国内の大会に加えて、隔年で開催される国際大会に参加できるのも本学会の魅力です。東洋大学の今村肇先生が国際本部との交流を長く続けておられますので、日本からも参画する機会が増えていきます。特に、公企業部門と社会経済部門について、それぞれ国際比較の研究に取り組み、ワークショップなどを通して各国の研究者や実務家との交流を深めてきました。わが国では人口減少に伴い公共サービスの維持が大きな政策課題となっていますが、欧州における官民連携の経験から学ぶべき点も多いため、国際レベルでの交流はますます重要になってくると思います。今後とも、皆様のご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

野村 宗訓（関西学院大学）



2. 第8回春季大会のお知らせ

(1) 春季大会について

日程：2020年3月14日(土) 12:00～19:30

会場：東京工業大学大岡山キャンパス西9号館3F（東京都目黒区大岡山2丁目12-1）

開催実行委員長：西田亮介（東京工業大学）

実行委員：生貝直人（東洋大学） 尾田基（東北学院大学）
原木万紀子（立命館大学） 藤井大輔（東京交通短期大学）
吉野裕介（関西大学）

シンポジウム（社会経済部会企画）「農山村地域における地域再生に向けた社会的経済の動向」（仮）
講演（開催校企画）松原聡（東洋大学）「日本の民営化40年の課題と展望」（仮）

【開催趣旨】

日本で公共サービスの民営化の議論と実践が本格化してから40年近い歳月が経過した。この間、通信、交通、インフラ等、そして国、地方で民営化が多様な構想と手法を通じて実施され、現在、多様な成果と課題が同時に明らかになりつつある。また国際公共経済学会においても様々な形で民営化に関する検討を行ってきた。ただ一方で、世界に目を向けると、行き過ぎた民営化に対して再公営化にも注目が集まりつつある。こうした状況をどのように理解し、次の学術的、政策的展望を描くべきなのか。日本の民営化に関する歴史、そして成果と課題を振り返りながら、2020年代の展望を考える契機としたい。

大会プログラム【最新のプログラムは学会HPでご確認ください】

12時00分	受付開始
12時20分～13時20分	修士論文賞報告
13時25分～14時25分	一般報告
14時30分～15時30分	理事会・修士論文賞審査
15時40分～16時40分	シンポジウム（社会経済部会企画）「農山村地域における地域再生に向けた社会的経済の動向」（仮）
16時45分～17時45分	講演（開催校企画：松原聡（東洋大学）「日本の民営化40年の課題と展望」（仮）
18時00分～19時30分	懇親会

(2) 修士論文賞の募集

春季大会で本学会の「修士論文賞」の審査、表彰を行います。この賞は、2019年度提出等の修士論文の優秀論文を顕彰するものです。まず、論文審査で4点以内の論文を優秀論文として選出します。また、その優秀論文は、春季大会にて報告して、その報告内容を含めて、最優秀論文1点を選出します。以下の応募要領に従って、奮ってご応募ください。

- ① 応募資格：2019年度修士論文提出者等（含む前年、前々年度提出者）応募者は学会員である必要はありませんが、学会員である指導教官の推薦が必要となります。推薦書様式は、HPからダウンロードしてください。
- ② 提出論文：下記の様式及び本会執筆要領による12,000字のフルペーパーの論文および審査参考資料として修士論文原本のPDF。12,000字のフルペーパーの論文は、修士論文の独創性、分析・検証手法、結果を中心にまとめること。分量は図表を含むA4用紙9頁以内とする。なお1頁

は 35 字× 40 行に設定する。アブストラクト（英文）およびキーワードの記載は不要とする。注ならびに参考文献リストは文末にまとめて記載する。これらは字数に含まない。

③ 締め切り：2020 年 2 月 10 日（月）（修士論文本文および修士論文を 12,000 字にまとめたものを PDF にして提出。締切厳守のこと）

④ 宛先：japan@ciriec.com

⑤ 優秀論文審査発表：2020 年 3 月 1 日（日） HP 上に掲載し、本人と指導教官に通知します。

⑥ 優秀論文報告および最優秀論文審査、発表：2020 年 3 月 14 日（土） 春季大会にて

⑦ 審査体制：審査委員長 草薙真一（兵庫県立大学）、審査委員長代理 森由美子（東海大学）

（3）春季大会一般・若手報告の募集

春季大会の一般・若手報告を募ります。以下の応募要領に即して、奮ってご応募ください。

① 応募資格：本会会員の大学院生（修士・博士課程）及び一般会員

② 発表を希望する方は、（1）所属、（2）氏名、（3）テーマ、（4）日本語のキーワード（5 語程度）、（5）日本語要旨（5 行程度）を、2020 年 2 月 16 日（日）までに事務局にメールでお送りください。発表の可否について、事務局で事前審査を行い、1 週間以内にご連絡します。

③ 宛先：japan@ciriec.com

フルペーパーの事前送付は必要ありません。学会誌への論文投稿希望者は、春季大会で発表すれば、学会誌への投稿が認められます。ただし、発表から投稿締切まで僅かな期間しかありません。発表時までに論文を作成しておくをお勧めします。詳細は事務局にお問い合わせください。

3. 「国際公共経済研究」第 31 号論文募集

学会誌『国際公共経済研究』第 31 号（2020 年 9 月発行予定）の投稿を募集します。査読論文、研究ノート、図書紹介、随筆等、広く募集しますので、奮ってご応募ください。

（1）査読付き論文 当学会では、学会の水準向上のために、査読制度（レフェリー制度）を設けています。査読を通った論文が学会誌に掲載されます。

① 提出論文：本会執筆要領による、12,000 字の論文、3 部

② 締 切：2020 年 3 月 31 日（火）消印有効（メールでは受け付けません）

③ 郵 送 先：〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学大学院経済学研究科 金子勝規研究室内 国際公共経済学会 事務局

※自由論題論文を投稿するには、毎年 12 月の研究大会、3 月の春季大会、部会での報告が必須条件となります。

（2）研究ノート、図書紹介、随筆等

事前登録の必要は、ありません。

① 字 数：研究ノート 12,000 字程度、図書紹介 1,500 字程度（最大 3,300 字以内）、随筆等適宜

② 締 切：2020 年 4 月 16 日（木）消印有効（メールでは受け付けません）

③ 郵送先：〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学大学院経済学研究科 金子勝規研究室内 国際公共経済学会 事務局

※掲載にあたりましては、編集委員会が審査します。

4. 第34回研究大会、学会4賞報告

(1) 第34回研究大会報告 2019年12月7日(土)、8日(日)に高崎経済大学にて、第34回研究大会が開催されました。

(2) 学会4賞の決定

〈学会賞〉岩満 賢次 (岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科)

『若年生活困窮者支援とガバナンス』

福田 晴仁 (西南学院大学商学部)

『鉄道貨物輸送とモーダルシフト』

〈尾上賞〉応募者なし

〈奨励賞〉高松 宏弥 (東京工業大学 環境・社会理工学院)

「西川口チャイナタウンの形成要因に関する研究——東京圏における中国人集住地域に着目して」

〈修士論文賞〉春季大会にて決定予定

5. 事務局より

(1) 入退会員の紹介 (理事会承認済み)

①入会 学生会員 3名 (敬称略)

稲垣 憲治 (京都大学大学院地球環境学舎)

富田 立 (大阪市立大学大学院)

安田 直樹 (関西学院大学大学院経営戦略研究科)

②退会 (7名) (敬称略) 森澤 恵子, 石井 晴夫, 長谷川 一博, 山田 浩之, 信吉 史明,
江口 雅彦, 三輪 春樹

(2) 年会費納入について

当学会は、2019年12月1日より新年度に入りました。つきましては、2020年度(2019年12月1日~2020年11月30日)の個人会費10,000円(大学院生は会費5,000円)を、同封しました振込用紙で納入をお願いいたします。会費未納の会員は、学会誌受領、大会参加、連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意ください。

(3) 今後の主な学会行事予定

・第33回 CIRIEC 国際大会

日時: 2020年6月4日(木)~6月6日(土)

場所: ギリシャ・テッサロニキ

テーマ: Publicly-Owned Enterprises and Social Economy: Which Strategies in Economic, Social and Environmental Transitional Processes?

・次世代部会合宿 2020年9月

・第35回研究大会 2020年12月

テーマ：検討中

会場：中京大学

実行委員長：齊藤由里恵（中京大学）

（４）新役員（2020年度・2021年度）

会長 野村 宗訓（関西学院大学）

副会長 伊藤 昭浩（名古屋学院大学）

楠田 昭二（早稲田大学）

田端 和彦（兵庫大学）

西田 亮介（東京工業大学）

顧問・名誉会長 仲上 健一（立命館大学）

顧問 柴田 弘文（大阪大学名誉教授）

三浦 宏一（世界貿易センター）

事務局長 金子 勝規（大阪市立大学）

常任理事 穴山 悌三（長野県立大学）

植野 一芳（大東文化大学）

草薙 真一（兵庫県立大学）

理事 穴山 悌三（長野県立大学）

生貝 直人（東洋大学）

市川 顕（東洋大学）

伊藤 昭浩（名古屋学院大学）

岩満 賢次（岡山県立大学）

植野 一芳（大東文化大学）

小熊 仁（高崎経済大学）

尾田 基（東北学院大学）

金子 勝規（大阪市立大学）

菊地 映輝（国際大学）

北島 健一（立教大学）

草薙 真一（兵庫県立大学）

楠田 昭二（早稲田大学）

西藤 真一（島根県立大学）

齊藤 由里恵（中京大学）

柴田 学（金城学院大学）

巽 直樹（KPMG コンサルティング）

田端 和彦（兵庫大学）

中村 伊知哉（慶應義塾大学）

西田 亮介（東京工業大学）

西村 陽（関西電力株式会社）

野村 宗訓（関西学院大学）

橋本 理（関西大学）

花田 真一（弘前大学）

原木 万紀子（立命館大学）

藤井 大輔（東京交通短期大学）

藤木 秀明（東洋大学）

藤原 直樹（追手門学院大学）

松原 聡（東洋大学）

森 由美子（東海大学）

矢島 正之（電力中央研究所）

山口 翔（名古屋学院大学）

山田 航（名古屋学院大学）

吉野 裕介（関西大学）

監事 堀 雅通（一般財団法人交通経済研究所） 水田 健一（名古屋学院大学）

【学会事務局】（2020年度・2021年度）

事務局次長 ヨットモーン・ピムプラパー（兵庫県立大学）

幹事 小熊 仁（高崎経済大学）、西藤 真一（島根県立大学）

【各種委員会】

次世代研究部会企画委員会（2020年度・2021年度）

(委員長) 西田 亮介 (東京工業大学)

第 35 回研究大会実行委員会 (2020 年度)

(委員長) 齊藤 由里恵 (中京大学)

国際公共経済研究第 31 号編集委員会 (2020 年度)

(委員長) 伊藤 昭浩 (名古屋学院大学)

学会 4 賞選考委員会 (2020 年度・2021 年度)

(委員長) 草薙 真一 (兵庫県立大学)

(副委員長) 森 由美子 (東海大学)

☆学会情報は、最新のものをホームページ <http://ciriec.com/> に掲載してありますので、ご参照ください。

☆学会への連絡は、メール (japan@ciriec.com) か郵便にてお願いいたします。

国際公共経済学会論文執筆要領

- (1) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード(5語程度)を日・英文で明記する。また、英文要旨(5行程度)を必ずつける。
- (2) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (3) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (4) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。
- (5) 注は文中の肩に(注1)のように記し、論文末尾にまとめる。
- (6) 章・節は、1、2、1)、2)、(1)、(2)の記号による。
- (7) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。
 - 著書(単独)の場合執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ
 - 著書(複数)の場合執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ
 - 論文の場合執筆者名、[出版年月]、「論文名」、『雑誌名』、巻号、引用ページ
- (8) 提出:事務局に郵送にて3部提出。
 - 学会事務局から、概ね1週間以内に受領メールを出します。
 - 返信のない方は、事務局までお問い合わせください。

学会賞規定、および執筆要領

修士論文賞規定

- 1(目的) 国際公共経済に関する大学院修士課程修士論文等を顕彰し、修士課程在籍者およびそれに準ずる者の学術的研究の奨励に資するため、国際公共経済学会修士論文賞を設け、優秀なる修士論文等を審査選定してこれに賞を授与し、その業績を顕彰する。なお、「修士論文等」および「修士課程在籍者に準ずる者」の詳細については、理事会で決定する。
- 2(表彰) 受賞は毎年4点以内とする。受賞者には、毎年3月に開催される「春季大会」での報告と、論文の学会誌掲載が認められ、優秀賞の賞状を授与する。さらにそのうち1点を、最優秀賞とし、賞状と記念品を授与する。
- 3(論文の応募資格) 当該年度修士論文等の提出予定者
なお、修士論文賞応募者については、学会員であることは不要とするが、「学会員である指導教官の推薦書」を必要とする。
- 4(応募論文) 応募論文は、修士論文を12,000字以内にまとめたフルペーパーとする。
- 5(公募) 本賞は、毎年1月に公募を開始し、2月10日に締め切る。公募の詳細については、審査委員会において決定する。
- 6(審査) 審査委員会は、応募論文を審査し、3月1日までに4点以内の受賞作を決定し、発表する。また、この受賞作の春季大会での報告のプレゼンテーションを審査し、論文審査と総合して最優秀賞を決定する。
- 7(報告) 研究会において審査委員長は、審査の経過を報告して、会長は対象作に賞を授与する。また、学会機関誌等でこれを公表する。